

通過儀礼がなくなった？

考えられるもの

① 財界・政界からの要請

無意味なタスクを手際よくこなす
ブルシットジョブに耐える個体
(内田・平川対談) →別紙参照

② 親 (PTA)

教育の受益者は「個人」という考え
消費者マインドで教育を見る

③ ネット 「わかりやすい」ニュース 「陰謀論」のたぐい 「エコーチェンバー」

中高一貫校の弊害？

『街場の教育論』5・6・7講 **論点整理シート**
『複雑化の教育論』 ぐんまたつるしゃくらぶ 2022.4.9.

格付け機関としての学校 (F59)

お気楽な学校 (F63)



好きにやれ！
ケツは持ったる！
機嫌いい教師
現場の教師の
パフォーマンスを高める
子どもたちを
歓待し、承認する

競争原理
管理教育
恫喝と処罰
他人の格付けを
下げようとする
子どもたち

メンター、先達
重要な他者

(M155)
親族の基本構造
親・子・おじ/おば

複数の大人が
違うことを言う

葛藤させる人

成熟は、葛藤に
よって果たされる

複雑化を (成熟を奪うもの)
阻害するものとは何か

教育は、マネーゲームではない
成熟とは、能力の拡大ではない

教育とは、成熟を支援すること
成熟とは、複雑化すること

単純化は、話を簡単にしたがる
退化である (F164)

学びへの動機づけの低下
↓
教員が反権力でなくなった
(体制順応型教師の増加)

(M110)
教員は基本的に
「反権力」がいい

(F177)
「そこにいるだけでいい」
をめぐって

「センチネル」を仕事に (F178)
「寅さん」が
生きられる社会
(青木真兵)

「あなたはあなたのままでいい」 (全面受容)
↑
「お前はホンマにそれでいいの？」 (問いかけ)

(F215)
「システムから出でよ」
との呼びかけ
(アブラハム、一神教)
「歓待し、承認する」と共に
「送り出すこと」も
成熟のために必要では？

教育の受益者は
個人ではなく共同体

「子どもたちの成熟を支援する」ために
教員以外の、市井の一庶民に
できることは何か？
タテ×ヨコ×「ナナメ」の関わり

「まず有縁から」 (F239)

わたしにとっての
成熟＝複雑化の
実践の場とは？

成熟した人間によって、
民主主義は正しく機能する

(さらに思いついた論点として...)

* 人口減少社会において

<人口増加社会>
ひとつの道を全員で同じ方向に歩く時代
<人口減少社会>
広い道を、個々に方向を定めて歩く時？
そのような時代には、多様で自由な
文化的創造性が生まれる可能性もあるのでは？

* AI時代と、人間の成熟・複雑化の関係

<凡例>
(M155) = 『街場の教育論』 P.155
(F177) = 『複雑化の教育論』 P.177

